学校番号	116

令和２年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	第２学年	PRO-VISION English Communication Ⅱ Advanced Exercises

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コミュニケーション英語Ⅱの授業は、「話すこと」「書くこと」「聞くこと」「読むこと」という４技能の総合的な力をつける授業です。さまざまな言語材料・言語活動を最大限に活用し、英語の運用能力を高めましょう。

・教材で扱われているテーマに対する関心を高め、その背景や文化的意味について学びながら、自分自身の考えも深めていきましょう。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第２学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（３単位）及び「応用英語Ⅰ」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・与えられた内容について、キーワードをつないで相手に伝わるようにわかりやすくまとめて話すことができる。 ・英語の音声的な特徴や、内容の展開などに注意しながら話すことができる。	コミュ英Ⅱ ・ペアワーク ・プレゼンテーション 応用英語Ⅰ ・ペアワーク等言語活動観察	・情報や考えについて、簡単な英文を書くことができる。 ・身近なことや興味のあることについて、辞書を使ってまとまりのある文章を書くことができる。	コミュ英Ⅱ ・定期考査 ・ライティングテスト 応用英語Ⅰ ・定期考査 ・ライティングテスト	・ナチュラルスピードで話される英文の内容をおおよそ理解することができる。 ・学校生活や身近なことや興味のあることに関する英文を聞いて、おおよそ内容を理解できる。 ・学習した語句を聞いて、おおよそ内容を理解することができる。	コミュ英Ⅱ ・定期考査 ・リスニングテスト	・教科書の文を正確な発音アクセントで音読することができる。 ・教科書の本文について、パラグラフ内の要点や内容のつながりを理解することができる。 ・説明、評論、物語などを、要点を押さえながら読むことができる。 ・図や表から情報を得ることができる。	コミュ英Ⅱ ・定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	積極的に言語活動を行い、ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身につけているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (6時間)	日本に住む外国の人々の多くが、日本人のマナーや勤勉さを賞賛する一方、「若者たちはもっと世界を自分の目で見るために出て行くべきだ」というメッセージも送っていることを読み取り考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・外国の人々から見た日本人の特徴について、知っていることを発言しようとしたり、聞こうとしたりする。	・各セクションを読む前に、知っていることを、ワークシートに基づいてペアで伝え合う。	・外国の人々から見た日本人の特徴について、発言しようとしたり、聞こうとしたりしている。	・ペアでの言語活動を観察する
		「外国語表現の能力」			
		・本文を読んで、日本に住む外国の人々の意見について自分の意見を話す。	・ペアで自分の考えと外国の人々の考えの相違について、伝え合う。	・本文を読んで、日本に住む外国の人々の意見について自分の意見を話すことができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・外国の人々から送られた若い日本人へのメッセージを読み、理解する。	・セクションごとに、教科書の英問英答問題に答え、概要を理解する。	・外国の人々から送られた若い日本人へのメッセージが理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・完了不定詞／to 不定詞の受動態／助動詞+have＋過去分詞の用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・完了不定詞／to 不定詞の受動態／助動詞+have＋過去分詞の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 2 (6時間)	「バリアフリー」と「ユニバーサルデザイン」の違いについて知り、ユニバーサルデザインについて興味を持ち、理解を深める内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ユニバーサルデザインについて、知っていることや思っていることを発言しようとする。	・ユニバーサルデザインについて、知っていることをワークシートに書き出し、ペアで伝え合う。	・ユニバーサルデザインについて、知っていることや思っていることを発言している。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ユニバーサルデザインという呼び方や概念が取り入れられた歴史について話す。	・ペアでユニバーサルデザインという呼び名や概念について話し合う。	・ユニバーサルデザインという呼び方や概念が取り入れられた歴史について話すことができる。	・ペアでの発表の内容を観察、評価する。
		「外国語理解の能力」			
		・日本におけるユニバーサルデザイン使用の現状を理解する。	・セクションごとに、教科書の英問英答問題に答え、概要を理解する。	・日本におけるユニバーサルデザイン使用の現状を理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・前置詞と関係代名詞／形式目的語 it の用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・前置詞と関係代名詞／形式目的語 it の用法を理解している。	・教科書の KEY LANGUAGE の問題を使い、各文法事項を適切に使うことができるかどうかを評価する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (6時間)	飢餓に苦しむ人々と、食べ過ぎによって健康を害する人々の両方を救う「Table for Two」というプロジェクトを紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・飢餓や食べ過ぎによる健康への影響について知っていることや調べたことを積極的に話す。	・飢餓や食べ過ぎなど、世界が直面する問題についてペアで伝え合う。	・飢餓や食べ過ぎによる健康への影響について積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・読んだことに基づき、Table for Twoというプロジェクトがどのようなものかまとめる。	・グループで話し合い、他者の意見を参考にしながら、自分の意見を整理する。	・読んだことに基づき、Table for Twoというプロジェクトがどのようなものかまとめることができる。	・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・Table for Twoというプロジェクトが人々にどのような影響を与えるか理解する。	・セクションごとに、Summaryを完成させ、概要を把握する。	・ Table for Twoというプロジェクトが人々に与えた影響を理解することができる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・関係副詞の継続用法、関係代名詞の継続用法、進行形の受動態を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・関係副詞の継続用法、関係代名詞の継続用法、進行形の受動態を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 4 (6時間)	1890 年に和歌山県沖で発生したトルコ船座礁の際に日本人が取った行動と､約1世紀後にイランイラク戦争でトルコ人が日本人を救った出来事を紹介し、理解を深める内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・トルコやエルトゥール号遭難事件について調べてきたことを積極的に話す。	・エルトゥール号遭難事件での人々のとった行動について、グループで意見を出し合う。	・トルコやエルトゥール号遭難事件について調べてきたことを積極的に話している。	・グループで出た意見をクラスで発表させる。
		「外国語表現の能力」			
		・読んだことに基づき、トルコ人を救うために村人たちがとった行動についてまとめる。	・英問英答で概要を把握し、要点となる部分を箇条書きする。	・読んだことに基づき、トルコ人を救うために村人たちがとった行動についてまとめることができる。	・重要な要点を押さえ、正しい文法で論理的に書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・イランイラク戦争でトルコ人が日本人を助けようとしたいきさつを読み取る。	・T／F問題、Q＆A問題の問いを利用して、概要を把握する。	・イランイラク戦争でトルコ人が日本人を助けようとしたいきさつを読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・完了形の分詞構文、what+(little/few)+名詞、未来完了形の用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・完了形の分詞構文、what+(little/few)+名詞、未来完了形の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (7時間)	ロケットを作るという自分の夢を実現させることで、周りの人が言う「どうせ無理」という言葉を否定した植松努さんを紹介し、彼のメッセージが私たちに何を伝えているのか考える内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・宇宙やロケット開発について、知っていることや調べてきたことを積極的に話す。	・知っていることペアで伝え合う。	・宇宙やロケット開発について、知っていることや調べてきたことを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・植松さんの子ども時代に関する英文を読んで、ロケット作りを目指した理由をまとめる。	・英問英答で概要を把握し、要点となる部分を箇条書きする。	・植松さんの子ども時代に関する英文を読んで、ロケット作りを目指した理由をまとめることができる。	・ワークシートを提出させ、その取り組み状況を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		・植松さんのメッセージが私たちに何を伝えているかを読み取る。	・セクションごとに英問英答問題に答え、概要を理解する。	・植松さんのメッセージが私たちに何を伝えているかを読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・be+to 不定詞、句や節を受ける which の用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・ be+to 不定詞、句や節を受ける which の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 6 (7時間)	環境や交通の問題を抱えていたブラジルの都市「クリティバ」を、すぐれた都市開発の導入で世界の注目を集めたジャイメ・レルネルの政策について知る内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ブラジルの国や文化について見聞きしたり知っていることを積極的に話す。	・ブラジルの国や文化について、グループで話し合う。	・ブラジルの国や文化について見聞きしたり知っていることを積極的に話している。	・グループで出た意見をクラスで発表させる。
		「外国語表現の能力」			
		・レルネルの再開発とそれに対する店の経営者たちの意見をまとめる。	・セクションごとに Summary を完成させ、全体として一つの要約文に仕上げる。	・レルネルの再開発とそれに対する店の経営者たちの意見をまとめることができる。	・重要な要点を押さえ、正しい文法で論理的に書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・住民が意見を変えた理由と、公共交通機関の再開発の内容を読み取る。	・セクションごとに英問英答問題に答え、概要を理解する。	・住民が意見を変えた理由と、公共交通機関の再開発の内容を読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・複合関係詞,S+V（使役動詞）+O+C（過去分詞）の用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・複合関係詞,S+V（使役動詞）+O+C（過去分詞）を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 （7時間）	あるきっかけで英語での落語を始めた桂かい枝さんを紹介し、英語と日本語でのリズムの違いや世界での公演について知る内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・落語の特徴について、知っていることを積極的に話す。	・落語の特徴について知っていることをペアで伝えあう。	・落語の特徴について、知っていることを積極的に話している。	・ペアでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・落語の歴史と、英語の落語を始めた桂かい枝さんのそれまでの経緯をまとめる。	・英問英答で概要を把握し、要点となる部分を箇条書きする。	・落語の歴史と、英語の落語を始めた桂かい枝さんのそれまでの経緯をまとめることができる。	・重要な要点を押さえ、正しい文法で論理的に書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・日本語と英語の落語の違いについて理解する。	・T／F問題、Q＆A問題の問いを利用して、概要を把握する。	・日本語と英語の落語の違いについて理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・so／neither+(助)動詞+主語、as if の用法について理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・ so／neither+(助)動詞+主語、as if の用法について理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 8 （7時間）	南アフリカ共和国新大統領に就任したネルソン・マンデラが、自国開催のラグビー・ワールドカップを通じて、国をひとつにしたストーリーを紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・南アフリカ共和国やアパルトヘイトについて、知っていることや調べてきたことを積極的に話す。	・知っていることをワークシートに書き出し、グループで話し合う。	・南アフリカ共和国やアパルトヘイトについて、積極的に話している。	・グループでの言語活動を観察する。
		「外国語表現の能力」			
		・マンデラ大統領のラグビー・ワールドカップへの想いについてまとめる。	・英問英答で概要を把握し、要点となる部分を箇条書きする。	・マンデラ大統領のラグビー・ワールドカップへの想いについてまとめることができる。	・重要な要点を押さえ、正しい文法で論理的に書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・なぜマンデラは白人に対して寛大な態度をとったのかを理解する。	・T／F問題、Q＆A問題の問いを利用して、概要を把握する。	・なぜマンデラは白人に対して寛大な態度をとったのかを理解できる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			

		・関係代名詞の継続用法(～+of which)、仮定法現在、結果を表す to 不定詞の用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・関係代名詞の継続用法(～+of which)、仮定法現在、結果を表す to 不定詞の用法を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 （７時間）	シンガポールの下水からきれいな水を作る「NEWater」プロジェクトには日本の高度な「ろ過技術」が使われており、日本がこの分野でこれからも重要な役割を果たすと予想されることが紹介されている内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・水問題について、知っていることや体験したことを積極的に話す。	・知っていることや体験したことをワークシートに書き出し、グループで話し合う。	・水問題について、知っていることや体験したことを積極的に話している。	・グループで話したことを、クラスで発表させる。
		「外国語表現の能力」			
		・シンガポールの水問題解決策を読み、まとめる。	・英問英答で概要を把握し、要点となる部分を箇条書きする。	・シンガポールの水問題解決策を読み、まとめることができる。	・重要な要点を押さえ、正しい文法で論理的に書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・NEWater プロジェクトのメリット・デメリットについて読み取る。	・Ｔ／Ｆ問題、Ｑ＆Ａ問題の問いを利用して、概要を把握する。	・ NEWater プロジェクトのメリット・デメリットについて読み取るとができる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・過去分詞の分詞構文、いろいろな仮定法の表現を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・過去分詞の分詞構文、いろいろな仮定法の表現を理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。
Lesson 10 （７時間）	「 Less is more」という考えは日本のデザインの考え方にも共通し、あらゆるものに取り入れられていることを紹介する内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・伝統と現代のデザインの特徴について、知っていることを積極的に話す。	・知っていることをワークシートに書き出し、グループで話し合う。	・伝統と現代のデザインの特徴について知っていることを積極的に話している。	・グループで話したことを、クラスで発表させる。
		「外国語表現の能力」			
		・桂離宮の美に感銘を受けたブルーノタウトについて読み、どのように影響を受けたかまとめる。	・英問英答で概要を把握し、要点となる部分を箇条書きする。	・桂離宮の美に感銘を受けたブルーノタウトについて、どのように影響を受けたかまとめることができる。	・重要な要点を押さえ、正しい文法で論理的に書けているかを判断する。
		「外国語理解の能力」			
		・禅の考えとその考えが生きている茶道や日本建築の特徴について、読み取る。	・Ｔ／Ｆ問題、Ｑ＆Ａ問題の問いを利用して、概要を把握する。	・禅の考えとその考えが生きている茶道や日本建築の特徴について、読み取ることができる。	・定期テストの筆記テストにおいて内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・付帯状況 with、関係詞節中に他の節を含む場合、主語の省略の用法を理解する。	・本文中で用いられている意味や用法を理解する。	・付帯状況 with、関係詞節中に他の節を含む場合、主語の省略の用法を理解できる。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて、知識が身に付いているかを判断する。